



平成10年 東金配水場4号配水池完成



令和元年 松尾配水場3号配水池完成

平成12年4月
水道料金の改定【平均改定率約19%】

平成14年10月
山武水道のホームページを開設

平成15年3月
給水人口が約16万9千人となり、ピークを迎える

平成18年12月
マスコットキャラクター「さんすいちゃん」誕生

平成23年3月
水道施設が被害を受ける
東日本大震災の発生により、

8月
水道料金のコンビニ支払いの導入

平成27年9月
重要給水施設配水管耐震化事業に着手

平成28年10月
基幹管路配水管耐震化事業に着手

平成30年10月
配水場施設耐震化計画に着手

令和元年9月
水道施設が被害を受ける
房総半島台風の上陸により、

令和5年9月
水道料金のスマートフォン支払いの導入

令和6年3月
山武郡市広域水道企業団設立50周年を迎える

次世代を支える
水道を目指して！



さんすいちゃん



平成23年3月 東日本大震災 応急給水

山武郡市広域水道企業団
中長期経営プラン2016
～ 水道事業ビジョン・経営戦略 ～
計画期間 平成28年度～平成37年度

山武郡市広域水道企業団
ロゴマーク・基本情報

平成28年3月 中長期
経営プラン2016策定

強靱 ～確実な給水の確保～

○災害時の被害を最小限にとどめ、安定した水道水の供給が行えるよう、基幹管路及び重要給水施設の配水管を優先的に耐震化する事業を進めるとともに、配水管の老朽化に伴う漏水に対しては、職員の管路パトロールによる早期発見や迅速な修繕を行うことで「確実な給水の確保」に努めます。

持続 ～供給体制の持続性の確保～

○近年、使用水量の減少に伴い水道料金収入が減少している中、老朽化した水道施設の更新及び耐震化は必要不可欠となっており、今後も資材高騰の影響等により益々厳しい経営状況が見込まれますが、引き続き、経費節減に取り組みながら経営の健全化を推進することで「供給体制の持続性の確保」に努めます。